

教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト について

2025年7月2日

東京学芸大学

教育インキュベーション推進機構

教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト

教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト プロジェクトの背景

ウェルビーイングに関する国内外の動向

1. 国の動き

①経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）

- ・政府の各種基本計画等にWell-beingに関するKPIの設定と導入（骨太方針2021）
- ・「こどもに着目した指標の在り方について検討」、「地方自治体におけるWell-being 指標の活用を促進」（骨太方針2023）

②各種調査や報告書の公開

- ・「Well-being ダッシュボード」の公表（2020年～）

2. 教育行政の動き

①学習指導要領

- ・生きる力
- ・学びに向かう力・人間性（非認知能力の重要性）

②教育振興基本計画

- ・日本社会に根ざしたウェルビーイング
- ・「個人のウェルビーイング」と「人とのつながりや関係性」におけるウェルビーイング」を調和的・一体的に育む

③文部科学大臣諮問

- ・多様な子どもたちを包摂する新たな学びのあり方
- ・そのための柔軟な教育課程編成の促進

3. 国際機関の動き

①OECDによる取り組み

- ・OECD加盟38か国中27か国が国レベルでWell-beingの計測、調査、計画策定等を行う何らかのフレームワークを有しているが、その多くは統計調査や生活評価の調査となっている
- ・「社会的・共同体Well-being」、「心の平穏、調和と協調」（周りの人との調和など）についても検討する意義がある
- ・OECDティーチングコンパス（2025年5月公表）の主眼は先生“も”ウェルビーイングになること

引用元：OECD 加盟国におけるWell-beingの計測に関する調査（Mahoney（2023））

ウェルビーイングの測定については、統計データ等をもとにした客観的な指標が中心。
主観的な指標や教育に関連した指標とその測定についてはこれから。

プロジェクトの基本コンセプト

自治体（教育委員会）

- ①教育ビジョン
（教育振興基本計画）
- ②教育施策
- ③既存の評価の取り組み

×

教育ウェルビーイング指標

- ①非認知領域・エージェンシー
- ②ウェルビーイング・状態
- ③時間・場面
- ④関係性

教育委員会と一緒にオーダーメイド的に推進し、教育政策や
学びの効果・変容をウェルビーイングの観点から可視化

プロジェクトで取り組む7つの柱

- ①教育委員会との対話を通じた計画の立案と推進
- ②地域に根ざした「教育ウェルビーイング指標」の開発
- ③指標を活用した中長期的、縦断的な測定の推進
- ④測定結果の教育政策や教育現場へのフィードバック
- ⑤プロジェクトの推進や社会実装に向けた伴走支援
- ⑥持続的な事業推進のための基盤構築支援
- ⑦各地の取り組みの共有と共創

教育委員会と連携するポイント

1. 教育で重要視されているにも関わらず体系的に評価されていない領域（非認知能力、エージェンシー）に関する学校現場の肌感覚をデータで可視化
2. 自治体の教育ビジョンや教育施策の効果をウェルビーイングの観点から可視化する一助
3. 子ども、教員や学校、地域住民や地域のウェルビーイングについて、学びを軸として中長期的に捉える

教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト

特色ある教育ビジョンや教育施策に取り組む自治体
（教育委員会）と東京学芸大学で、
地元の大学や企業等とも連携し、

教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト

を推進していきます。

（2025年7月にコンソーシアムを設立予定）

教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト

プロジェクトの連携先教育委員会（2025年7月現在）



プロジェクトの連携先教育委員会（2025年7月現在）

①葉山町（神奈川県）

葉山のスクールミッション <https://www.town.hayama.lg.jp/kosodate/kyoiku/14604.html>

②中頓別町（北海道）

中頓別学園構想 <https://nakatombetsugakuen.edumap.jp>

③山県市（岐阜県）

山県学園構想 <https://www.ikuhaku.com/best/2023/idea.html>

④延岡市（宮崎県）

学びの多様化 <https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/59/35502.html>

⑤大熊町（福島県）

学び舎 ゆめの森 <https://manabiya-yumenomori.ed.jp/>

プロジェクトの意義と社会的インパクト

① ウェルビーイングを可視化

自治体の教育ビジョンや教育現場での取り組みについて、**子どもや教員・家庭・学校・地域のウェルビーイングの観点から可視化する。**

② 全国区の教員養成大学としての社会貢献

全国から学生が集まり、全国に教員として赴任する「全国区」の大学として、**各地の自治体との連携により我が国の教育へ貢献する。**

③ 小規模自治体との連携インパクト

数としては圧倒的に多く、人口減少や地域資源の弱体化などの課題を抱えることも多い小規模自治体（3万人以下で約5割）との連携は、**取り組みとしてのモデル性や社会的インパクトにつながる。**

教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト プロジェクトの展開（年次）

～2024年度

2025年度

2026年度～

①準備段階

文献等のレビュー
予備調査@葉山町

各教育委員会との
相談・調整

キックオフ

②初期段階

PJ設計
予備調査
分析・検証

学生参画機会

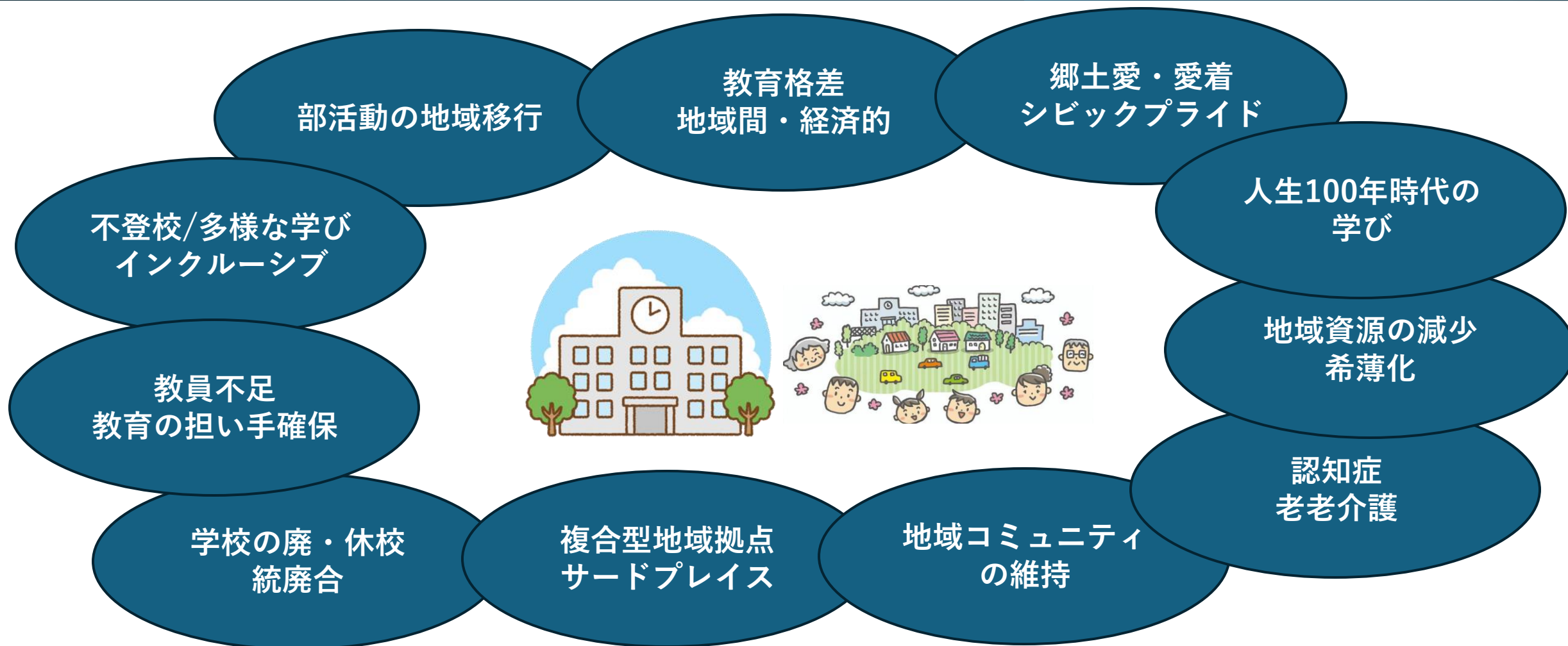
報告・発信

③展開段階

調査の充実
共有・検証

プラットフォーム化
・研究会
・ネットワーク構築
・学生参画の拡大

教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト プロジェクトの展開（領域）



教育を軸に、領域（際）で分けずに混ざる（ゴチャ）展開